

／処理しきれないごみが発生中／

燃えるごみの5割削減にご協力をお願いします

去る2月1日に焼却ごみ処理施設で火災が発生し、現在、稼働を停止しています。復旧するまで、市民・事業者の皆さまには、より一層のごみの減量にご理解とご協力をお願い致します。



市民・事業者のみなさんへ4つのお願い

1 ごみの排出量を5割削減してください

◇燃えるごみの量を減らしてください。

生ごみやおむつなど、衛生上影響のあるごみ以外は貯め置きをしましょう。

ごみ袋を1つにまとめましょう。ごみ袋は焼却ごみになります。ごみを小分けに出すよりも1つの袋にまとめて出すことで、ごみ袋の削減につながります。



◇ごみ処理施設への粗大ごみなどの持ち込みを極力控えてください。

不燃ごみや粗大ごみを破砕すると、そこからも焼却ごみが発生します。

不燃ごみや粗大ごみの不要不急の持ち込みは、延期してください。

1割削減!

◇3Rを心がけましょう。

焼却ごみを減らすためには、3つのRの行動が必要です。

◆リデュース（発生抑制）

ごみになるものを減らす!

必要以上の物は買わないようにしましょう。

◆リユース（再利用）

繰り返し使う!

マイボトル、詰替え商品にしましょう。

◆リサイクル（再生利用）

もう一度資源として利用する!

プラスチック製容器包装や紙などの資源物を分別しましょう。

2 生ごみの水分を減らしてください

1割削減!

◇生ごみの水切り・乾燥を徹底しましょう。

生ごみの約8割は水分です。水切りをすると生ごみの重さを約10%減らすことができます。

◇生ごみを堆肥化しましょう。

生ごみは堆肥としてリサイクルできます。市では家庭用生ごみ処理機の購入・設置に対して、購入費の一部を助成しています。

詳しくはホームページまで



ホームページID
1005120



3 資源物を分別してください

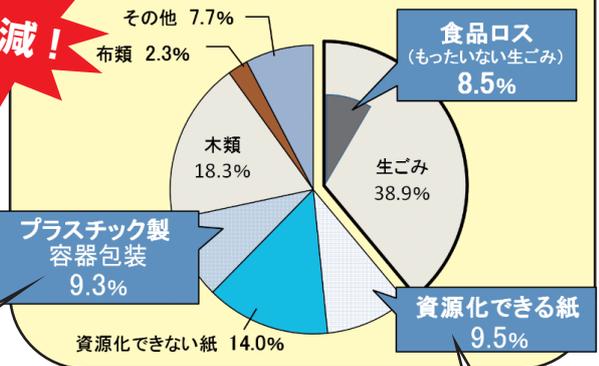
◇資源物の分別を徹底しましょう。

焼却ごみの中には、「プラスチック製容器包装」や「資源化できる紙」などの**資源物が約2割混入**しています。

混ぜればごみ，分ければ資源！本当に焼却ごみかももう一度考えてみましょう。

2割削減！

市家庭系焼却ごみ組成分析調査結果
(令和元年度)



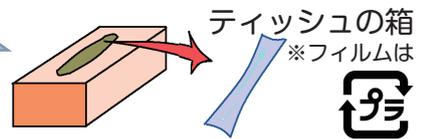
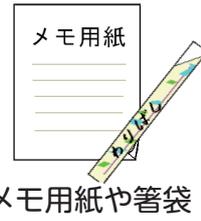
プラスチック製容器包装とは？



ごみ分別アプリ配信中！



資源化できる紙とは？



「新聞」「雑誌」「ダンボール」「紙パック」
以外に**上記の紙も資源**になります！



汚れが落ちれば資源物です。軽くすすいでから出してください！異物や汚れがあると焼却ごみになってしまいます。

4 食品ロスを削減してください

◇食材を「買いすぎない」／料理を「作りすぎない」「食べ残さない」ようにしましょう。

焼却ごみの中には，賞味・消費期限切れなどの理由により廃棄される「食品ロス」が**約1割混入**しています。

削減ポイント

- ・ 買い物前にあらかじめ冷蔵庫をチェック！ → 買いすぎ防止
- ・ 料理は食べ切れる分だけ作ろう！ → 作りすぎ防止
- ・ ハーフサイズなどの自分にあった量で食べきり！ → 食べ残し防止



1割削減！



今回の火災は，焼却ごみに混入していたライターやスプレー缶，電池などの危険ごみからの発火が原因と考えられます。危険ごみを焼却ごみや資源物に混入させることは，絶対にやめてください。収集車の火災事故や作業員の怪我にもつながり，大変危険です。また，野外でごみを焼却することは法律で禁止されています。

